

# URAWAMISONO

青空みそのいち  
美園マチなかロビー

アクティビティレポート

UDCmi  
Urban Design Center of Misono

ソトノバ  
sotonoba.place

## 青空みそのいち

主催：美園タウンマネジメント協会、  
美園コミュニティセンター  
協力：埼玉高速鉄道（株）、さいたま市  
（一社）美園タウンマネジメント  
調査監修・実施：ソトノバ

## 美園マチなかロビー

主催：みその都市デザイン協議会  
運営：一般社団法人美園タウンマネジメント  
協力：埼玉高速鉄道株式会社  
調査監修・実施：ソトノバ





# Contents / 目次

## 2017

### 1. イントロダクション . . . . . P3

- ・ 社会実験概要
- ・ 付録

### 2. 青空みそのいち (9月) . . . . . P5

- ・ 社会実験概要
- ・ アクティビティマッピング・カウント・アンケート

### 3. 美園マチなかロビー (11月) . . . . . P13

- ・ 社会実験概要
- ・ アクティビティマッピング・カウント・アンケート

### 4. 今後の実施に向けた課題と可能性 . . . . . P26



A street is much more than a street.  
It is where life happens

01

# Introduction / 序章





## Aozora misonoichi 「青空みそのいち」第1回開催

2017/09/16 10:00-15:00

場所：美園コミュニティセンター 1階交流ひろば

主催：美園タウンマネジメント協会、美園コミュニティセンター

協力：埼玉高速鉄道（株）、（一社）美園タウンマネジメント、さいたま市



## Misono Machi-naka-lobby 「美園マチなかロビー」

2017/10/29-11/3 10:00-16:00

場所：埼玉県高速鉄道線「浦和美園駅」東口 出入口2付近  
(さいたま市緑区美園四丁目 12 番地)

主催：みその都市デザイン協議会 協力：埼玉高速鉄道株式会社

運営：一般社団法人美園タウンマネジメント



## Appendix / 付録

### 調査監修・調査実施

ソトノバ（泉山壘威、三浦詩乃、荒井詩穂那）

### レポートデザイン

ソトノバ（泉山壘威、石田祐也、小澤亮太）

### 調査員

泉山壘威、三浦詩乃、荒井詩穂那、菅野星来、小原寛士、

山田広明、井上慧彦、長瀬琳太郎、関根康介



02

# Aozora misonoichi

## / 青空みそのいち

「青空みそのいち」第1回開催 2017/09/16 10:00-15:00

場所：美園コミュニティセンター 1階交流ひろば

主催：美園タウンマネジメント協会、美園コミュニティセンター

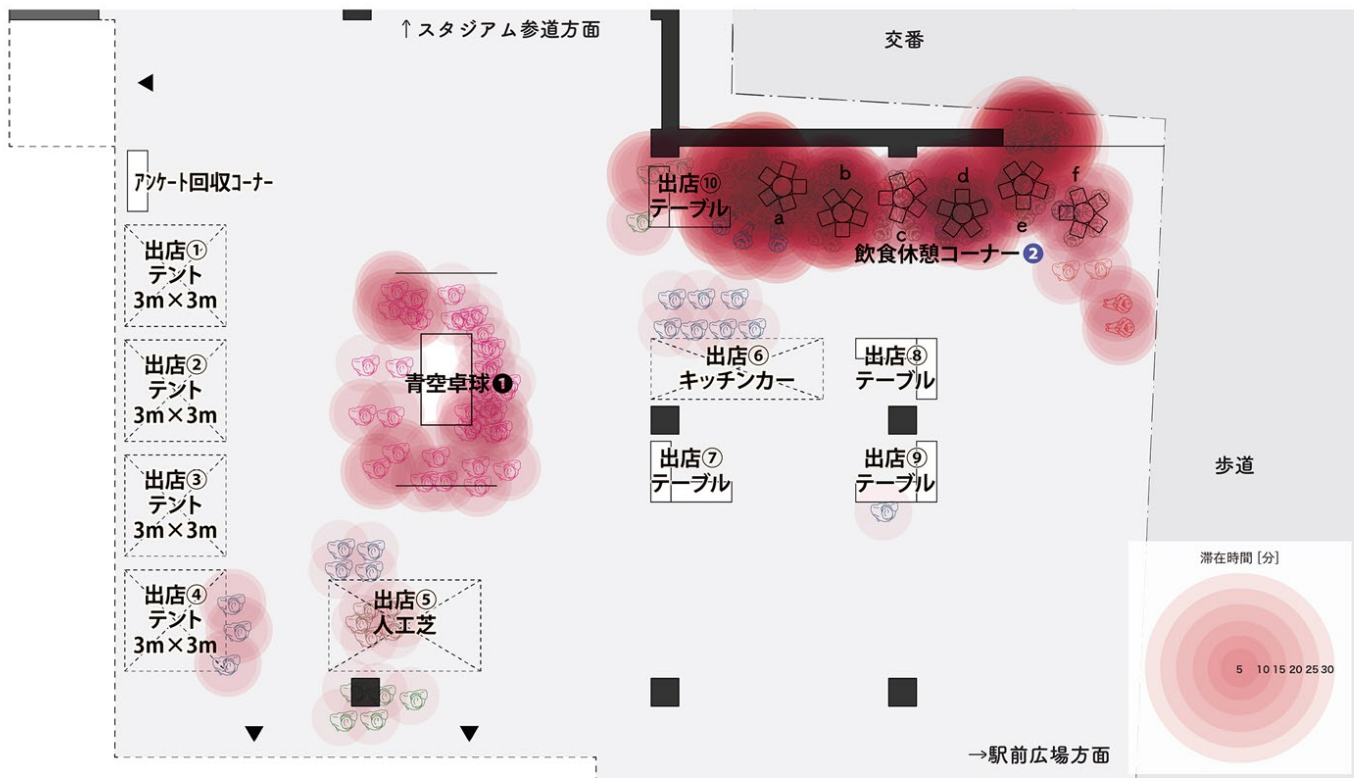
協力：埼玉高速鉄道（株）、（一社）美園タウンマネジメント、さいたま市



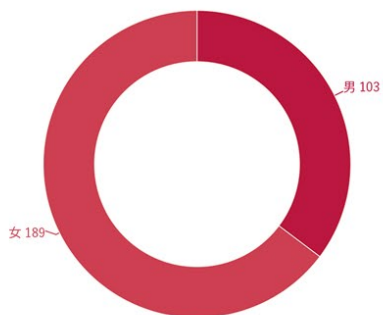
調査日時：2017/9/16(火) 10:00～15:00



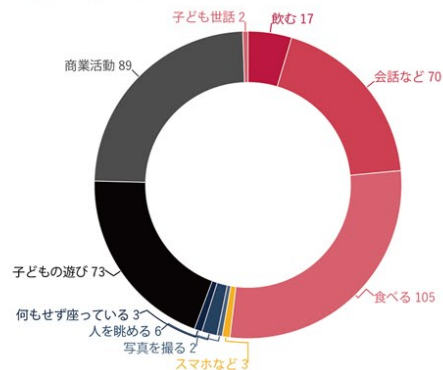
# アクティビティマッピング



● 性別



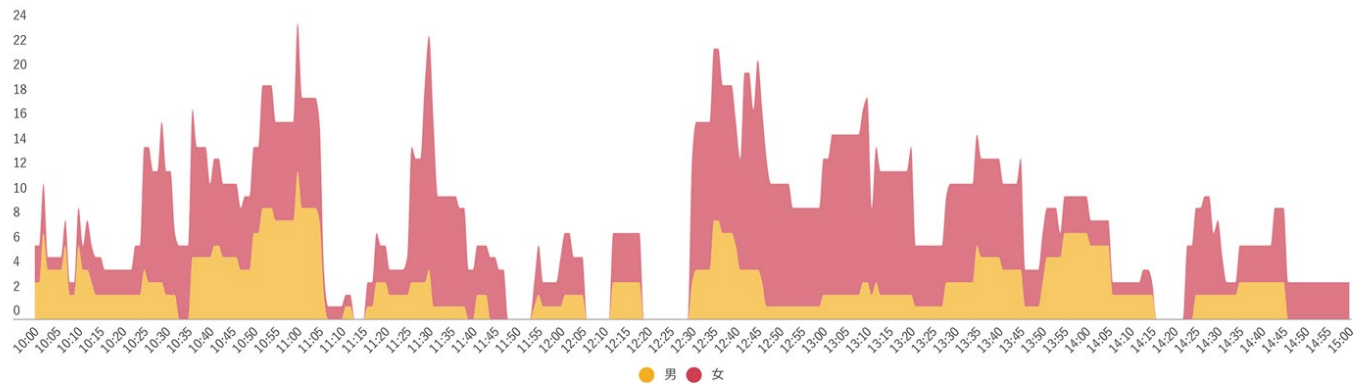
● 活動種類



- 飲食休憩コーナーにアクティビティが特に多く集中していた。
- 女性の方が男性に比べて人数が多く、割合は全体の約65%であった。
- 「食べる」が105件で最も多いアクティビティであった。次いで、「商業活動」(89件)、「子どもの遊び」(73件)、「会話など」(70件)が多かった。



● 滞在時間グラフ | 性別



- 10時台、12時半以降に滞在人数は増加した。
- 滞在時間の傾向について、男性と女性に大きな差は見られなかった。
- 常に女性の方が多く来場していたことが分かる。





# 歩行者カウント

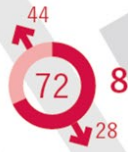
地点別歩行者数



歩行者カウント数は  
1時間あたりの平均歩行者数  
11-15 (地点1~8)

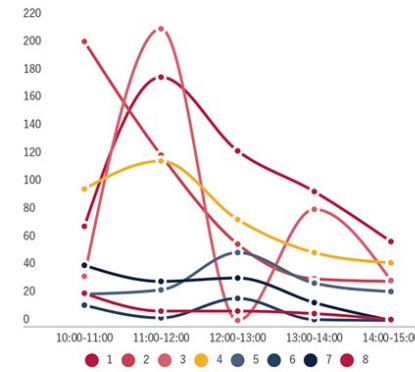
浦和美園駅

美園コミュニティセンター

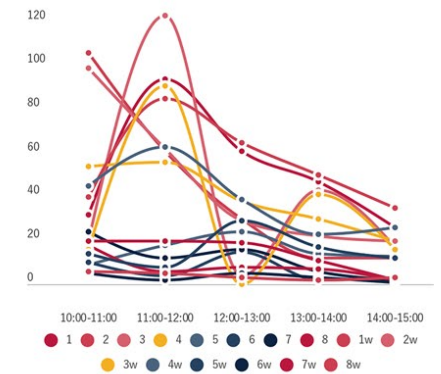


# Aozora Misonoichi 08

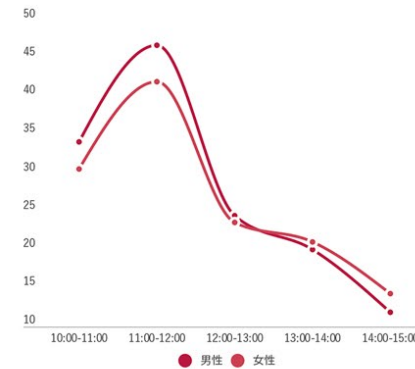
## 歩行者数推移 | 場所



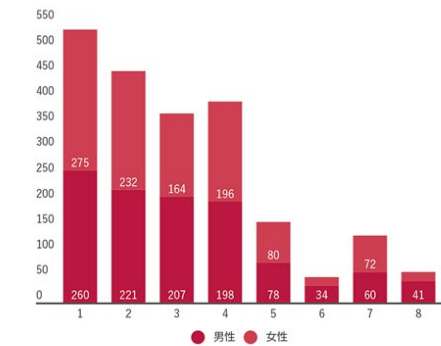
## 歩行者数推移 | 場所、性別



## 歩行者数推移 | 性別



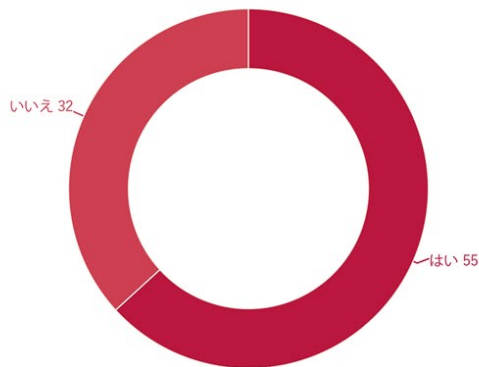
## 場所別歩行者数 | 性別



- 1時間あたりの歩行者交通量が多いのは順に地点1(642人)、地点2(543人)、地点4(473人)であった。
- 埼玉スタジアム2002に向かう地点3や駅前の地点1では、イベントに向かう人が多かった11時台が特に多い結果となった。
- 午前中は男性の方が多かったが、午後になると女性の方が多くなった。

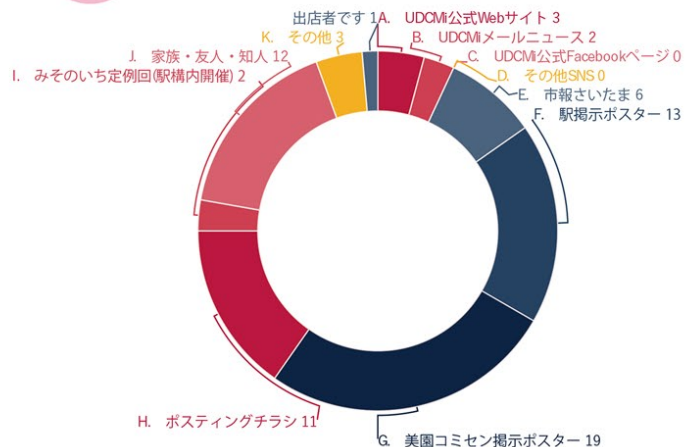


**Q1** 「青空みそのいち」をご存知でしたか？



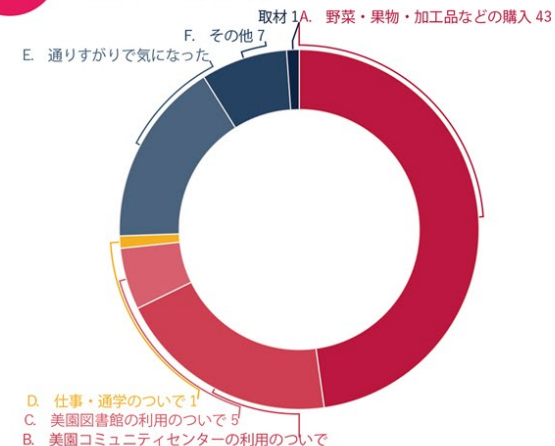
「はい」と答えた人が55件(63%)で、「いいえ」と答えた人より多かった。

**Q1**で「はい」を選択した方はどこで情報を得たか以下よりお選び下さい



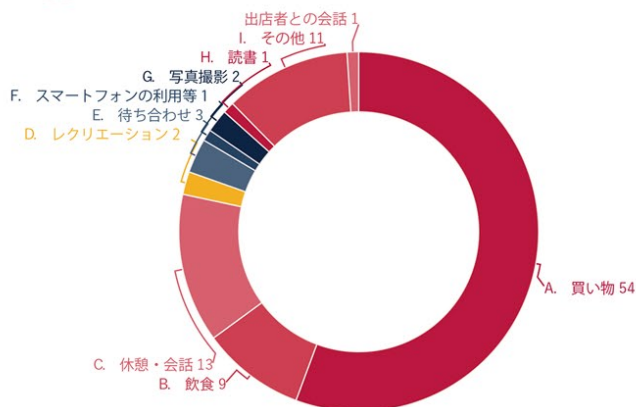
情報源については、美園コミセン掲示ポスターで認知したケースが19件と最も多かった。

**Q2** 本日の「青空みそのいち」への来訪目的は何ですか？



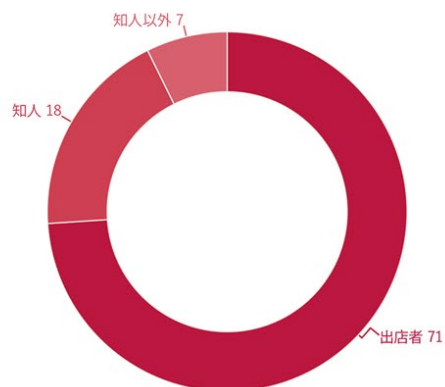
野菜・果物・加工品などの購入に訪れた人が43件でほぼ半数を占めた一方、通りすがりや他用のついでに寄った人も多く見られた。

**Q3** 会場内で過ごす際に主に行った活動は何ですか？



買い物(54件)や飲食(9件)などの消費行動が、全体の65%を占めていた。

**Q4** 会場内で、会話や挨拶などコミュニケーションをとった人について教えてください。

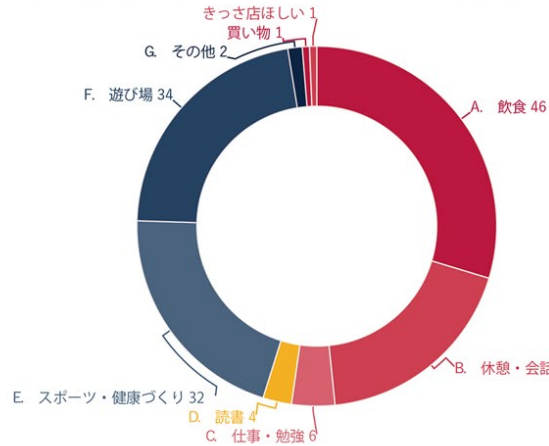


出店者とのコミュニケーションをとった人が71件(74%)と非常に多く、活発な交流が生まれていたことが分かる。

## アンケート

Q5-1

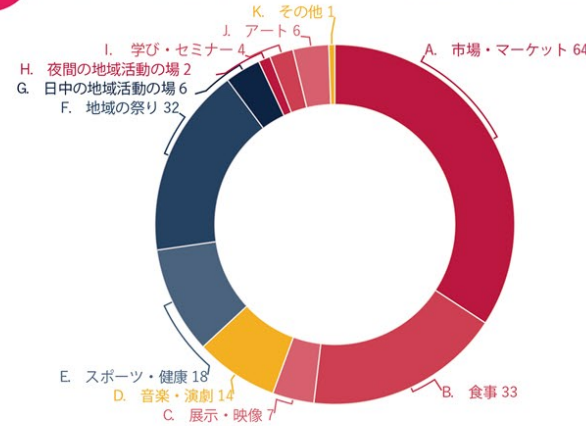
駅周辺のオープンスペースでどんな日常活動がもっとできたらいいと思いますか？



駅周辺のオープンスペースに期待する日常的な活動として、飲食が46件(30%)で最多だった。次いで、遊び場が34件(22%)、スポーツが32件(21%)で多かった。

Q5-2

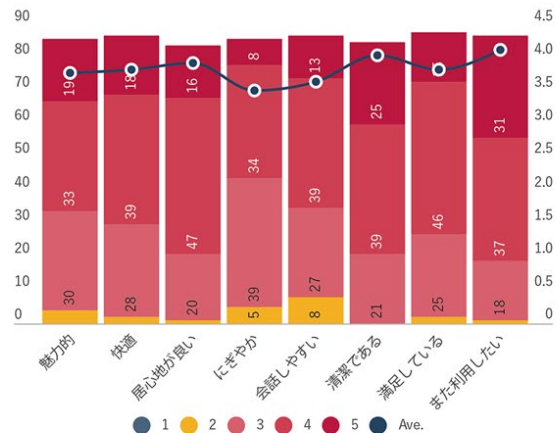
駅周辺のオープンスペースでどんなイベントが行われればいいと思いますか？



駅周辺のオープンスペースに期待するイベントとして、市場・マーケットが64件(34%)で最多だった。次いで、食事が33件(18%)、地域の祭りが32件(17%)で多かった。

Q6

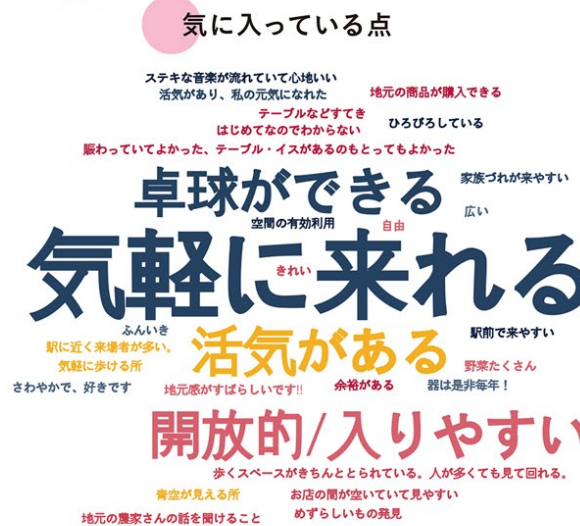
(イベント時) 通りの印象について以下の数字より該当するものを選んでください。



全項目で5段階評価の5,4の回答が多く、好評を博していたことが分かる。特に「清潔である」「また利用したい」については平均点が4を超えていた。

Q7

(イベント時) 通りのデザイン・空間について気に入っている点・改善してほしい点を教えてください。



改善してほしい点

出店者を増やしてほしい

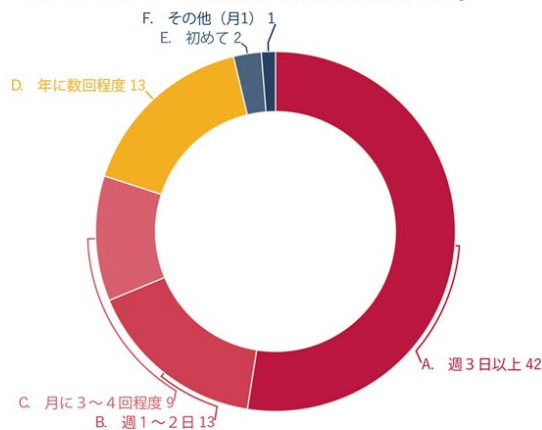
もう少し多いといい、店も店も「3店舗」などなどで案内があると嬉しい  
食べ物がもう少しあったらいい  
音楽は小さめに  
パン屋さんがあれば  
出店スペース  
せまい/小さい  
活気がほしい  
中庭で何か出し物があればもっと賑わうと思いました  
少々種な感じ  
もう少し野楽等活用してほしい  
子供の楽しめるものほしい、卓球だと小学生以上だけになるのでもう少し種類がほしい  
スペースがもう少し広いといいのでは?

気に入っている点として、気軽に來れる(3件)、卓球ができる、活気がある、開放的/入りやすい(以上、2件)など、会場のオープンな雰囲気と言及した評価が集まった。一方、改善してほしい点として、出店者を増やしてほしい(16件)という意見に集中した。



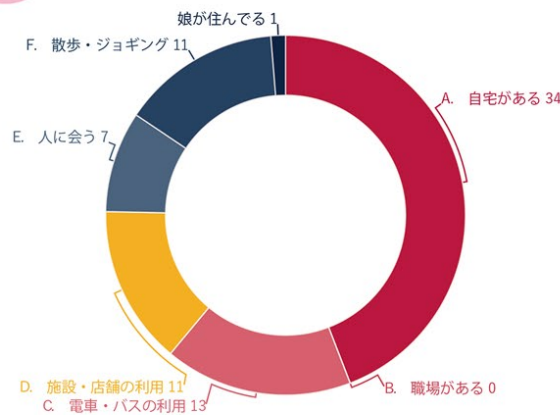
## Q8-1

浦和美園駅東口エリアにはどのくらいの頻度で訪れますか。



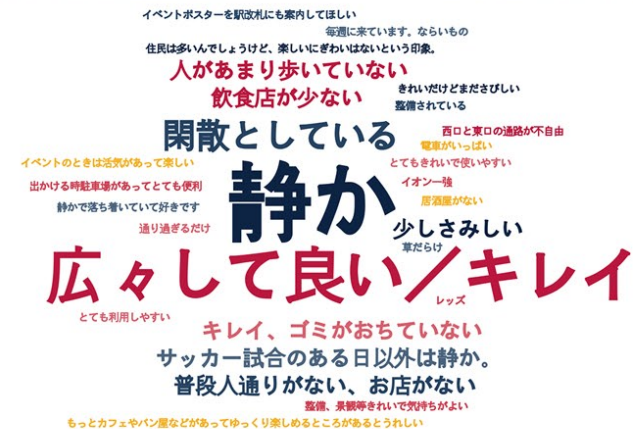
日常的に週1日以上エリアを訪れている人(AとBの合計)は、55件(69%)であった。Cと合わせると80%が定期的に訪れていることが分かった。

また、訪れる目的は何ですか？



自宅がある人が34件(44%)とほぼ半数だった。次に電車・バスの利用が13件(17%)、施設・店舗の利用、散歩・ジョギングが11件(14%)と多かった。

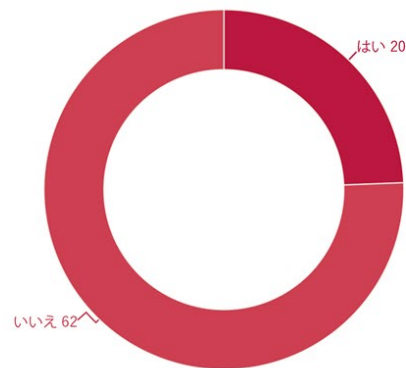
Q8-1の「頻度」でA-Dを選択した方に伺います。普段の浦和美園駅東口エリアの印象を教えてください。



広々して良い/キレイ(5件)という好意的な意見がある一方で、静か(7件)、閑散としている(3件)、人があまり歩いていない(以上2件)など、日常的なにぎわいが少ない点が指摘されていた。

## Q8-2

みその都市デザイン協議会や美園タウンマネジメント協会をご存知ですか？



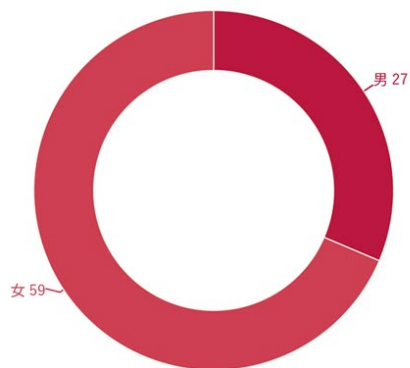
「はい」と答えた人は20件で、全体の24%であった。

Q8-2で「はい」を選択した方は、ご存知の協議会の取り組み内容を教えてください。

- 学校ボランティア
- 鉄道BAR
- ウォーキング
- 都市開発
- みその市
- 美園人は知ってます。
- 駅の上に行って町を見て説明を聞いたことがあります。他の団体だったらすみません
- 歩数計
- もっと発信力を高めて
- 期待しています

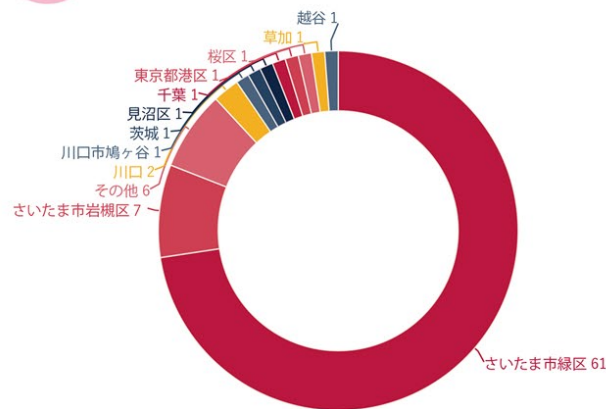
協議会を知っていると答えた人からは、学校ボランティアや鉄道BARなどが挙げられる一方で、もっと発信力を高めて欲しい等、期待の声も集まった。

## 性別



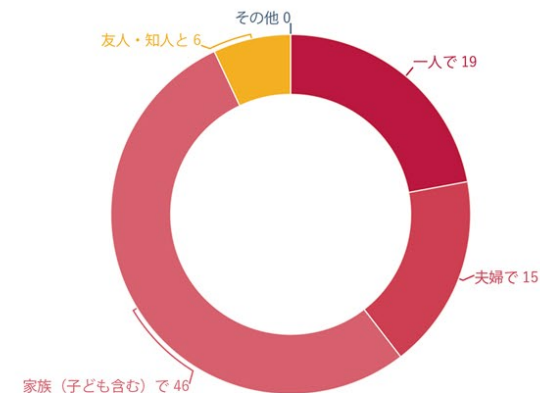
男性が27人(31%)、女性が59人(69%)と女性の方により多く回答していただいた。

## 居住地



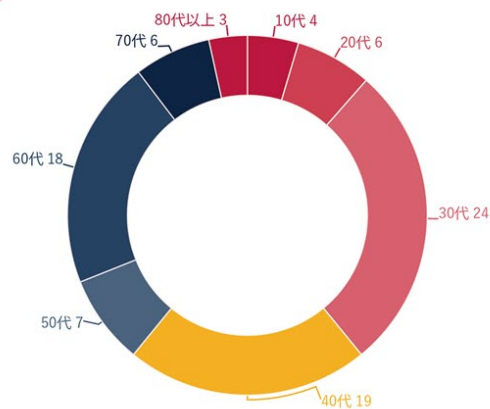
浦和美園駅が位置するさいたま市緑区の居住者が61人(73%)と大半を占めていた。

## 同伴者



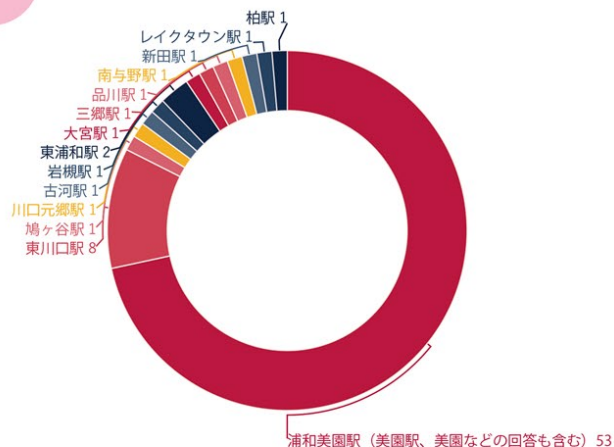
子どもを含めた家族連れが46件(53%)で最も多かった。夫婦で(15件・17%)を含めると、家族で来たのは7割に上った。一人で来た人も19名(22%)と一定数いた。

## 年代



30代以上の回答数が約9割を占め、20代以下は10%程度にとどまった。

## お住いの最寄駅



浦和美園駅周辺住民が主なイベント参加者だったことが明らかになった。また、埼玉県住民がほとんどだった。



03

# Misono Machi-naka-lobby

## / 美園マチなかロビー

「美園マチなかロビー」 2017/10/29-11/3 10:00-16:00

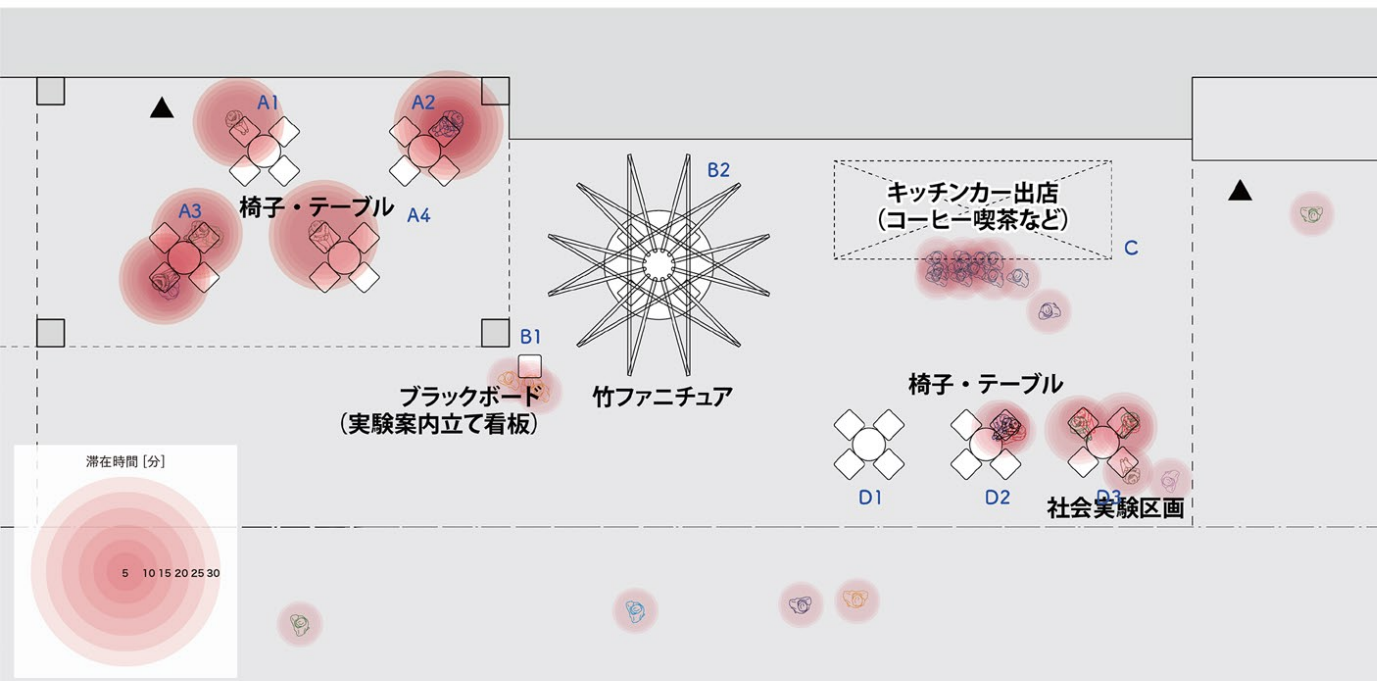
場所：埼玉県高速鉄道線「浦和美園駅」東口 出入口2付近

主催：みその都市デザイン協議会 協力：埼玉高速鉄道株式会社

運営：一般社団法人美園タウンマネジメント

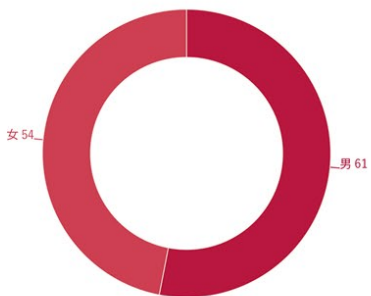


調査日時：2017/10/31(火)10:00～16:00  
2017/11/3(日)10:00～16:00

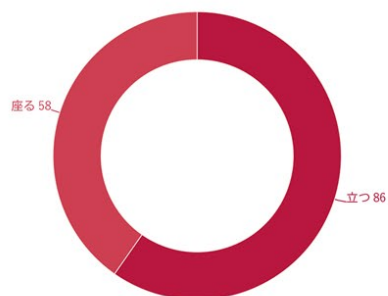


- 椅子とテーブルが並べられたエリアと、キッチンカー周辺にアクティビティが集中した。
- 男性が61人(53%)、女性が54人(47%)とほぼ差がなかった。
- 姿勢については、「座る」が58件(40%)、「立つ」が86件(60%)認められた。
- 「飲む」が44件、「食べる」が39件で飲食活動が全体の35%に達した。「会話など」も43件と非常に多く、食事を取りながらコミュニケーションがよく取られていたことが分かった。
- 「座る」のみに限って見ると、女性の割合の方が高くなる。また、座っている人に多く見られるアクティビティとして、飲食(「食べる」「飲む」の合計: 22件・24%)、「看板を見る」(20件・22%)、「会話など」(17件・19%)などが見られた。

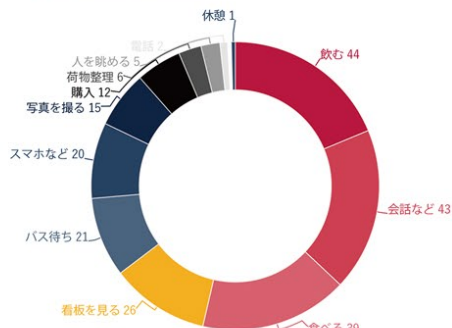
● 性別



● 姿勢

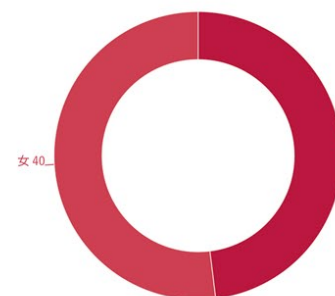


● 活動種類

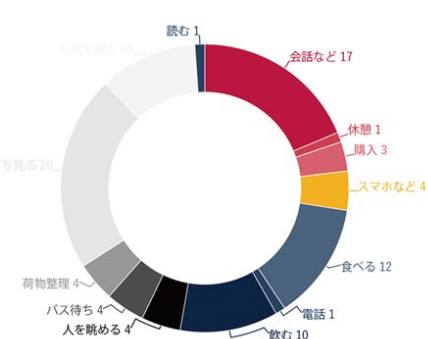


「座る」のみ

● 性別

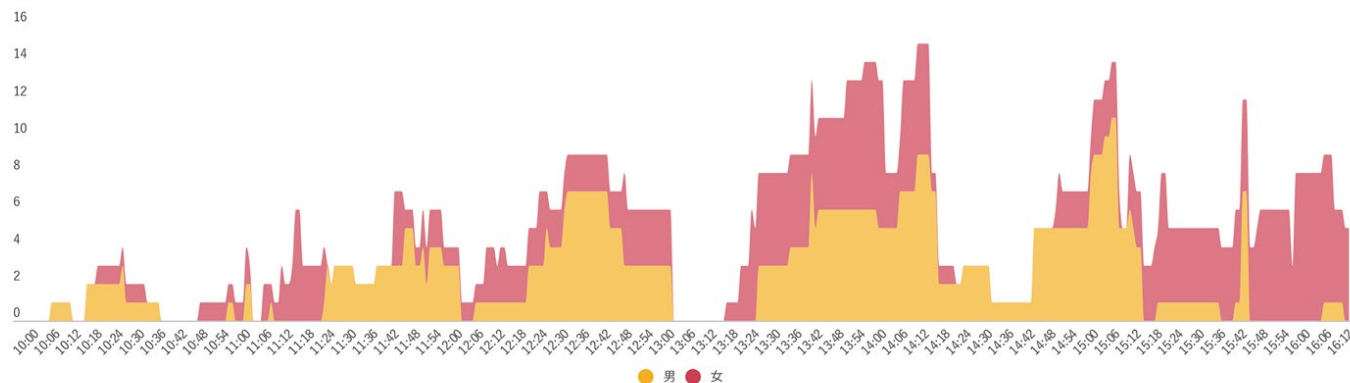


● 活動種類

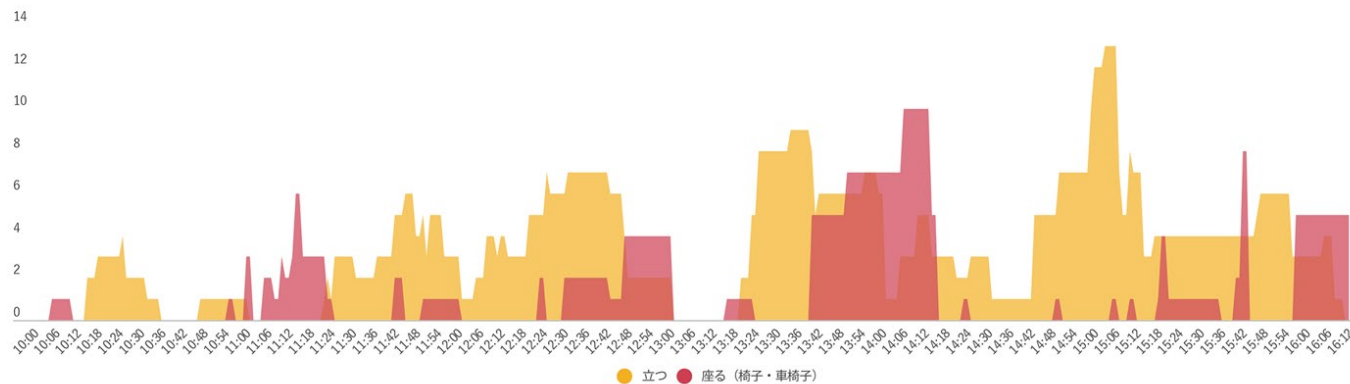




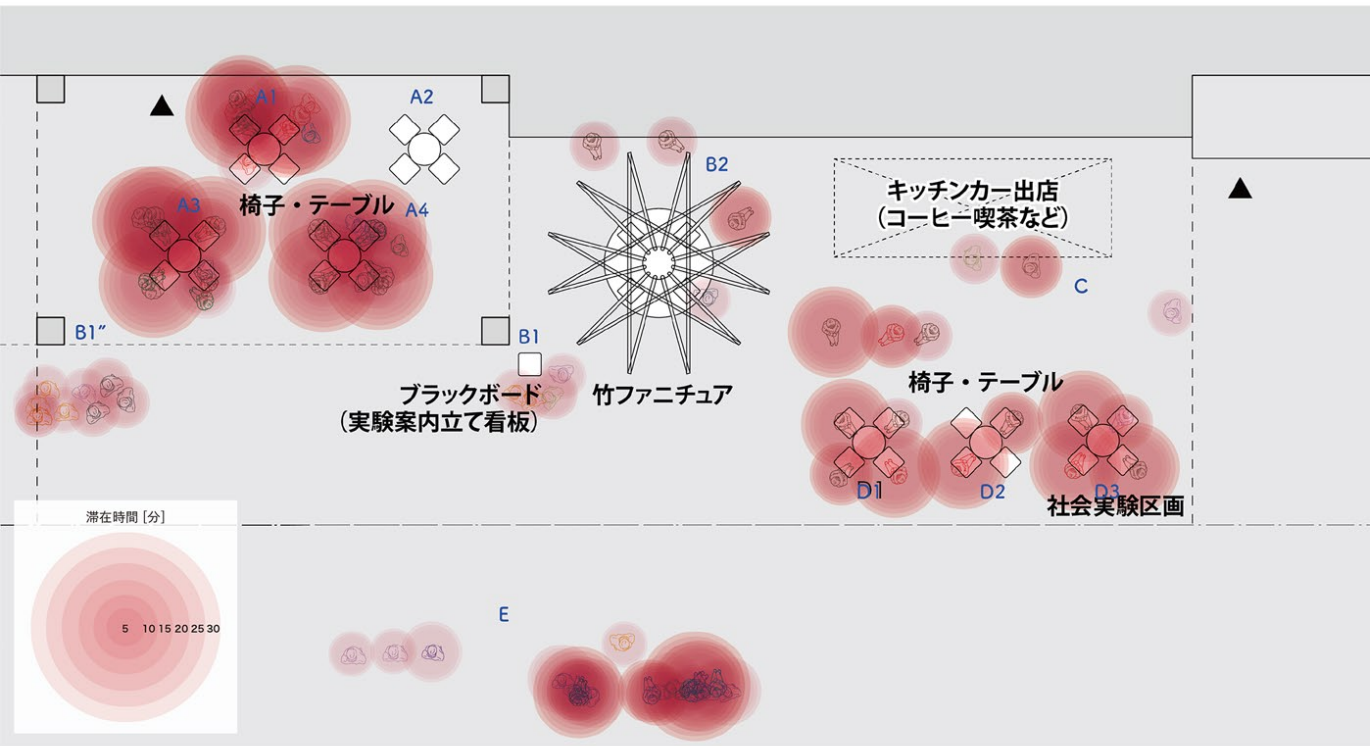
## 滞在時間グラフ | 性別



## 滞在時間グラフ | 姿勢

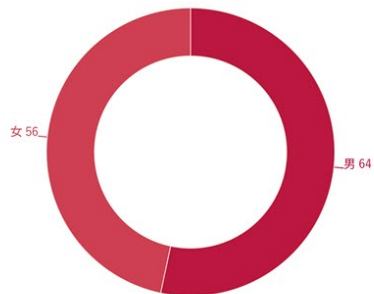


- イベント開始後徐々に人が増え始め、13時台と15時前後でピークを迎えている。
- 15時までは男性の方が多いかほぼ同数だったが、15時以降は女性の割合の方が大きくなった。
- 14時前後で座るアクティビティが多く見られた。それ以外では立っているのがよく見られ、13時半前後、15時前後でピークを迎えている。

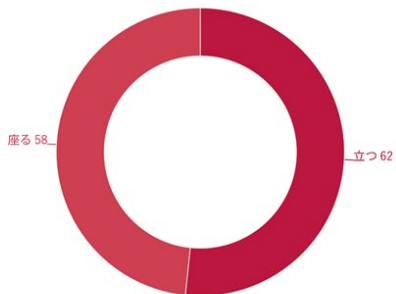


- 椅子とテーブルが並べられたエリアと、実験案内立て看板周辺にアクティビティが集中した。
- 男性が64人(53%)、女性が56人(47%)とほぼ差がなかった。
- 姿勢については、「座る」が58件(48%)、「立つ」が62件(52%)と、ほぼ同数だった。
- 「飲む」が35件、「食べる」が23件で飲食活動が全体の36%に達した。「会話など」も21件と多く、食事を取りながらコミュニケーションがよく取られていたことが分かった。また「看板を見る」もよく見られ、本実験への関心の高さがうかがえた。
- 「座る」のみに限って見ると、女性の割合の方が高くなる。また、座っている人に多く見られるアクティビティとして、「看板を見る」(21件・29%)、飲食(「食べる」「飲む」の合計:12件・17%)、「バス待ち」(12件・17%)などが見られた。

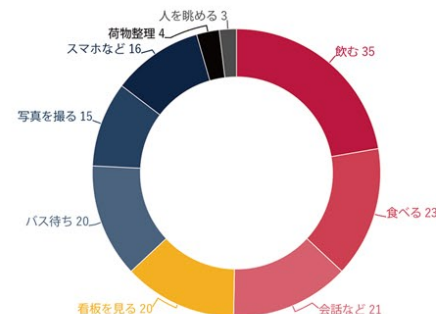
● 性別



● 姿勢

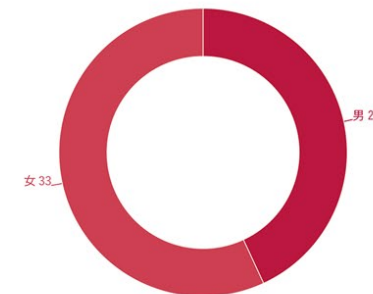


● 活動種類

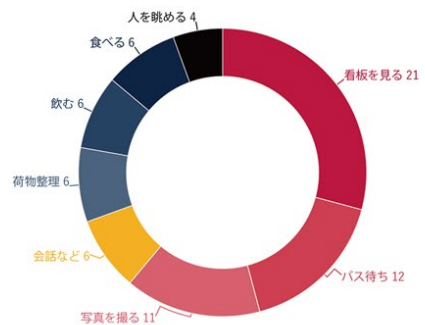


## 「座る」のみ

● 性別

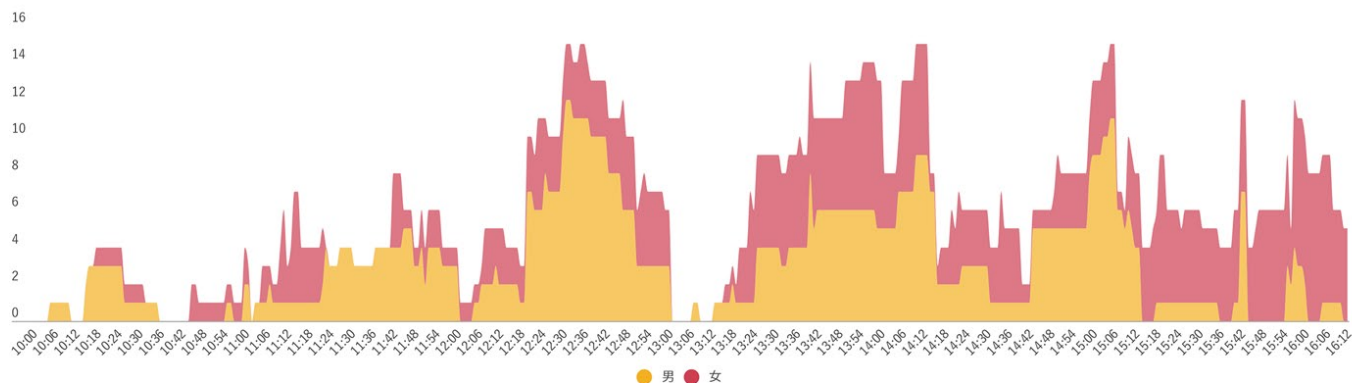


● 活動種類

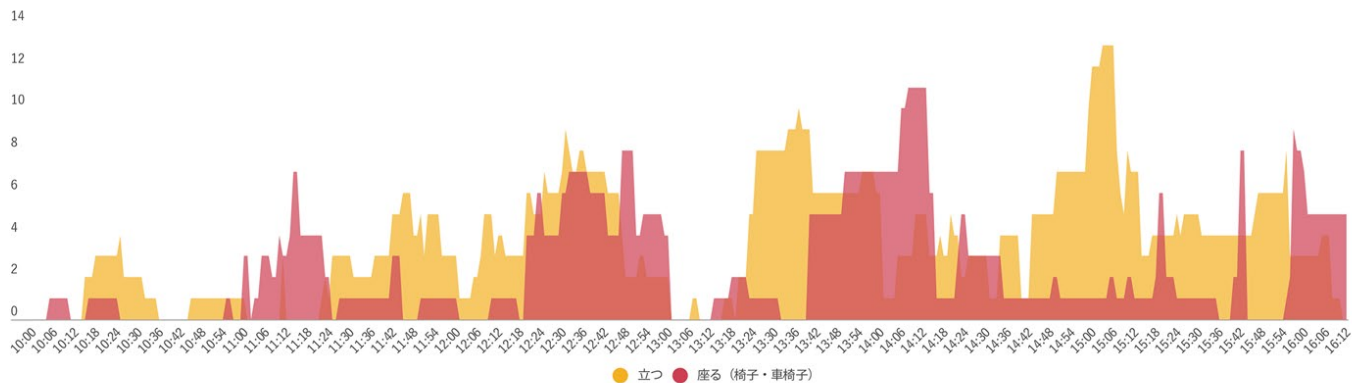




## ● 滞在時間グラフ | 性別

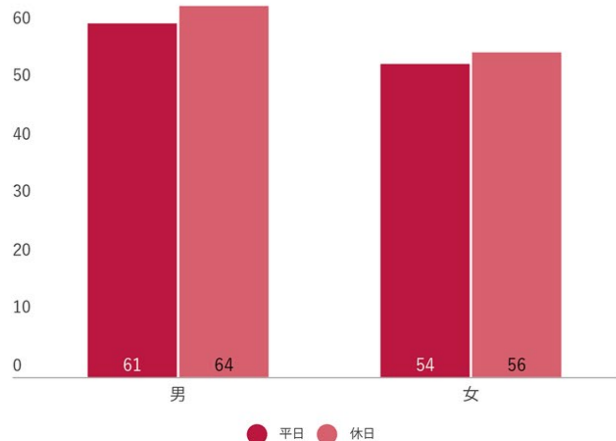


## ● 滞在時間グラフ | 姿勢

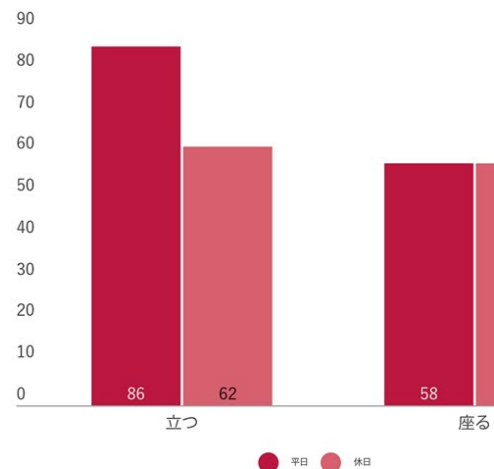


- 午前中は男性の方が圧倒的に多かったが、午後になると女性の割合が高まった。
- ランチタイムである12時台、また昼下がりの13時台と15時前後に男女共ピークを迎えている。
- 12時台と14時前後では座るアクティビティが多く見られた。昼前11時台と13時台、14時以降では立つ姿勢がより多く認められている。

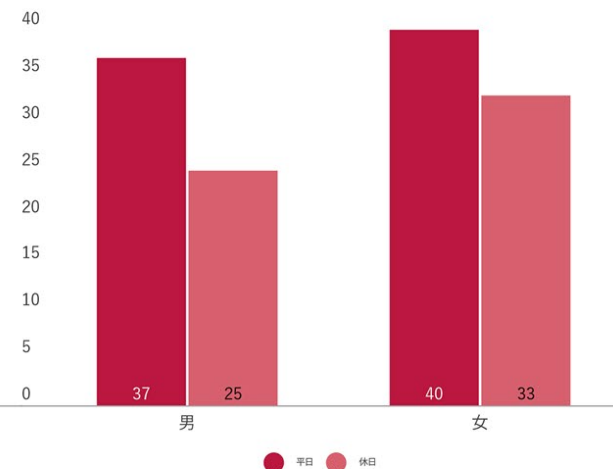
● 性別



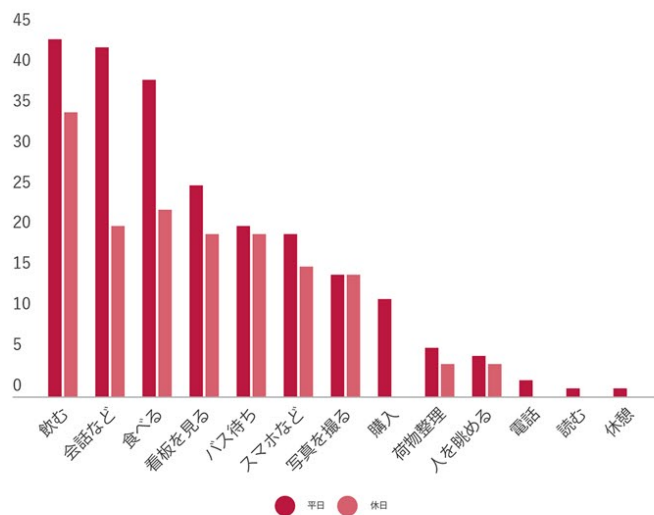
● 姿勢



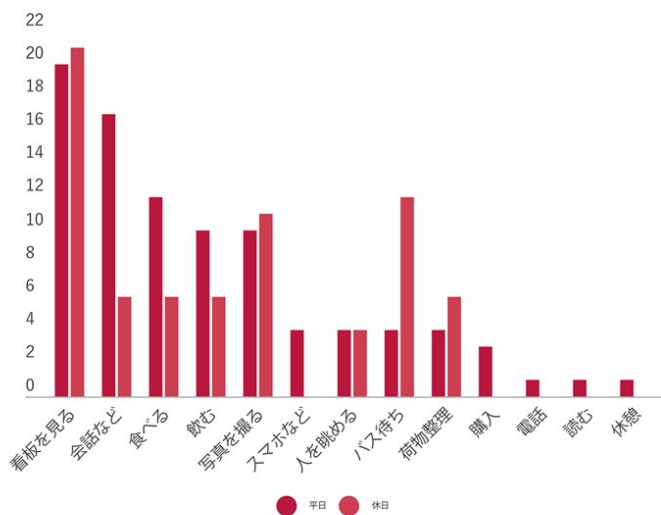
● 性別(座るのみ)



● アクティビティ



● アクティビティ(座るのみ)



- 男女共に休日の方が若干名数が多かった。
  - 「座る」姿勢が平日休日で差がなかったが、「立つ」姿勢は平日の方が多かった。
  - 座っていた人は、男女共に平日の方が多かった。
  - 活動パターンごとの人数の傾向としては、平日休日で差はあまり見られなかったが、飲食活動は平日に顕著に多かったことが分かる。
- ・「座る」のみに限って見ると、平日休日ともに「看板を見る」が最も多かった。平日で次に多かった「会話など」は休日ではそれほど多くなく、バス待ちのためによく座っていたことが分かる。



# 歩行者カウント

2017.10.31 平日

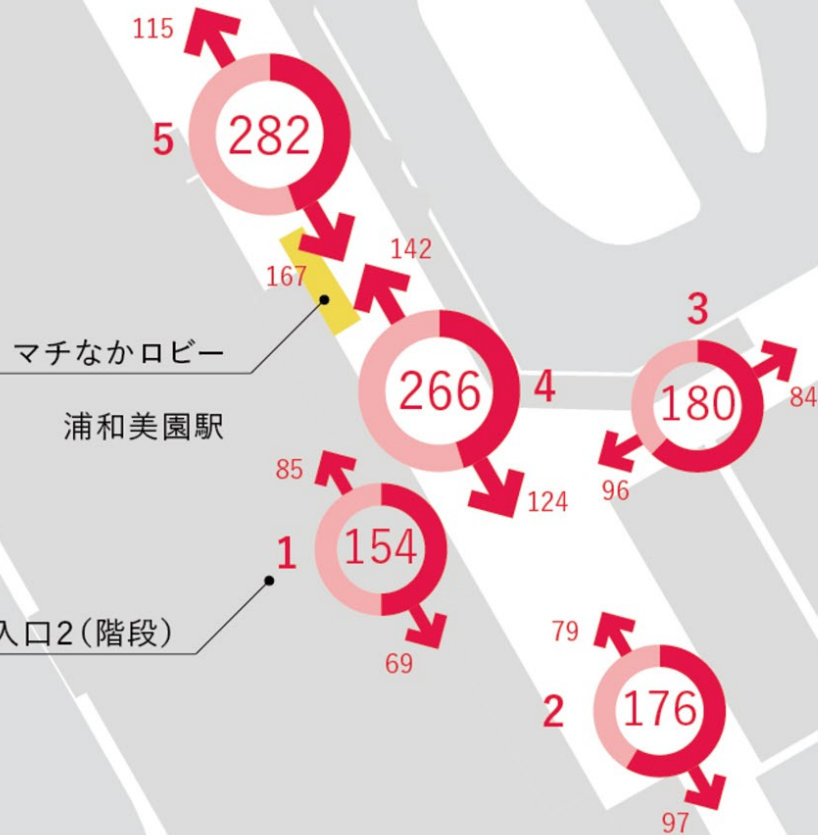
地点別歩行者数



1hあたり  
平均歩行者数

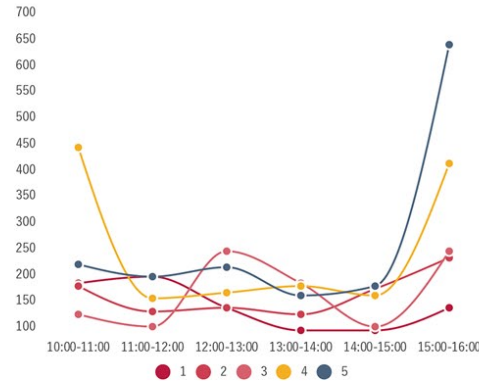
女性 男性

歩行者カウント数は  
1時間あたりの平均歩行者数  
11-16(地点1~5)

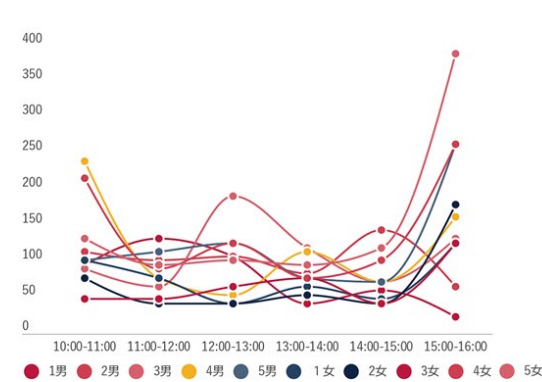


# Misono Machi-naka-lobby 19

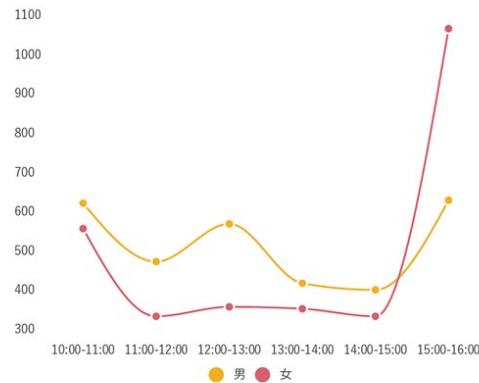
歩行者数推移 | 場所



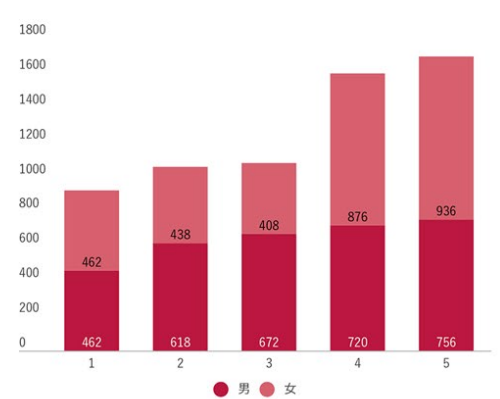
歩行者数推移 | 場所、性別



歩行者数推移 | 性別



場所別歩行者数 | 性別



- 1時間あたりの歩行者交通量が多いのは順に地点5(282人)、地点4(266人)であった。
- 地点4,5では10時台と15時台に歩行者数のピークを迎えた。
- 15時までは男性の方が多かったが、15時台になると女性の数が激増している。なかでも地点4,5での増加が顕著である。
- 地点1では男女同数、地点2,3では男性の方が人数が多かったが、地点4,5では女性の方が多くなっている。

# 歩行者カウント

2017.11.03 休日

地点別歩行者数

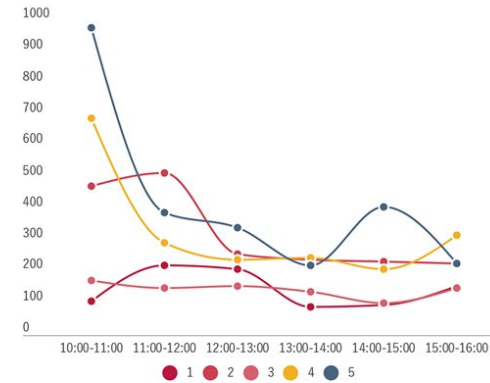


女性 男性

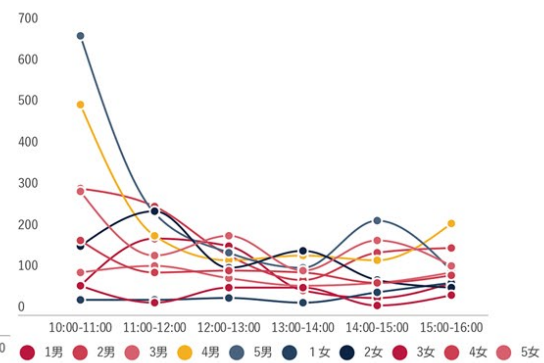
歩行者カウント数は  
1時間あたりの平均歩行者数  
11-16(地点1~5)

# Misono Machi-naka-lobby 20

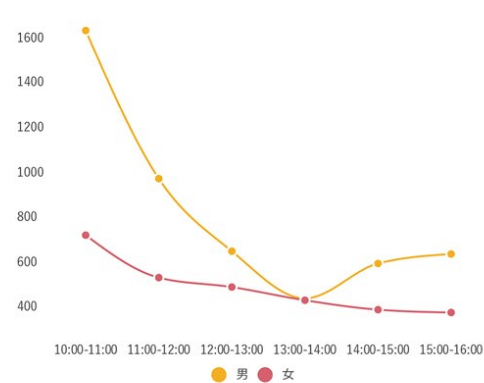
歩行者数推移 | 場所



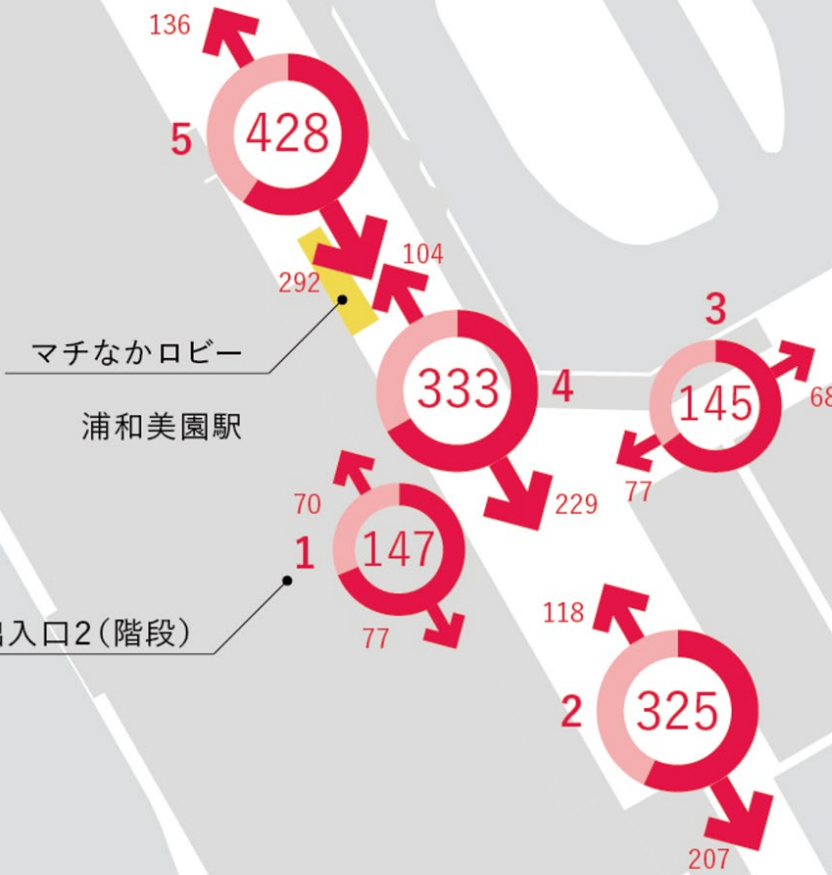
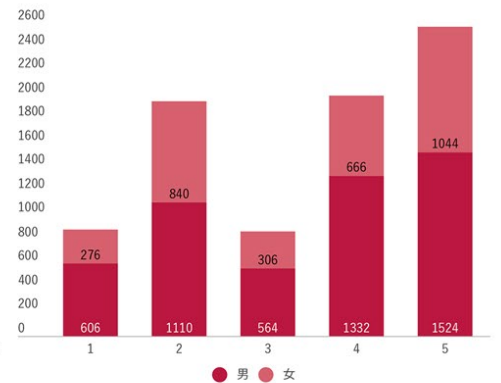
歩行者数推移 | 場所、性別



歩行者数推移 | 性別



場所別歩行者数 | 性別



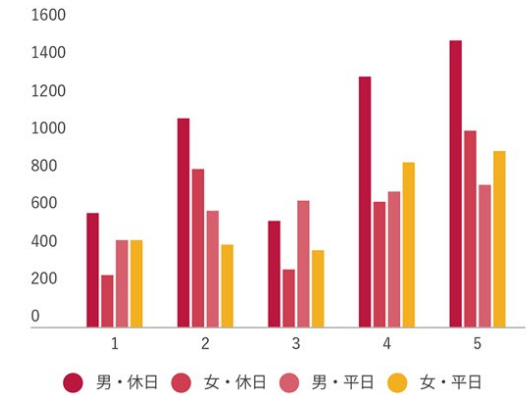
- 1時間あたりの歩行者交通量が多いのは順に地点5(428人)、地点4(333人)であった。
- どの地点も午前中に歩行者数のピークを迎えている。地点5では、14時台にも歩行者数が極大になっている。
- 開催時間を通じて男性の歩行者数の方が女性よりも多かった。場所別に見ても、男性の方が多い傾向であった。



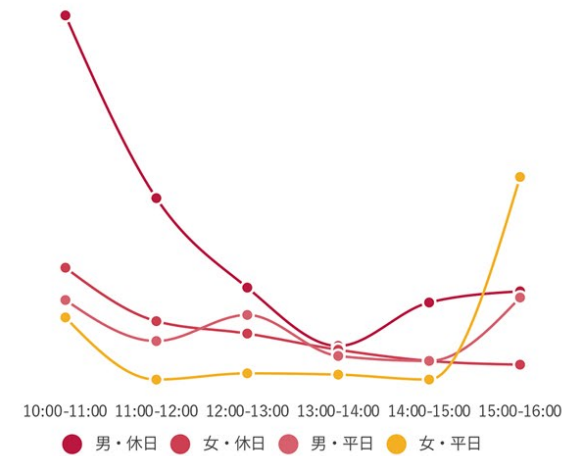


# Misono Machi-naka-lobby 21

● 場所別歩行者数(平日休日比較) | 性別

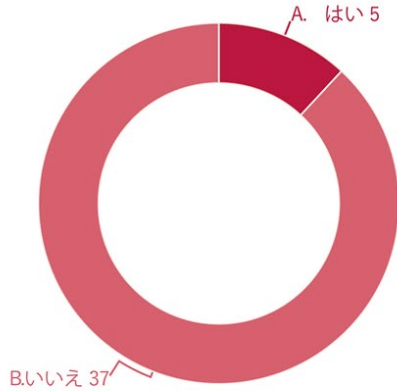


● 歩行者数推移(平日休日比較) | 性別



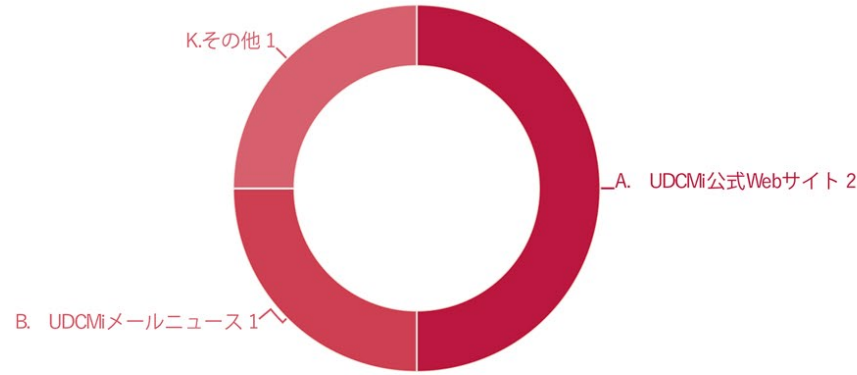
- 平日休日ともに男性の方が多いう傾向にあったが、地点4,5においては平日のみ女性の方が男性よりも多くなっている。
- 男女共に、休日の方が平日よりも多い傾向にあったが、平日の15時台のみ女性の歩行者数が最も多くなっている。

**Q1** 「美園マチなかロビー」をご存知でしたか？



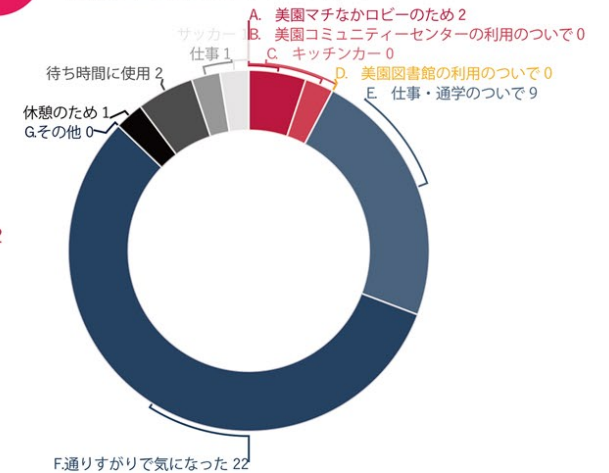
「はい」と答えた人は5件(約12%)にとどまった。

**Q1**で「はい」を選択した方はどこで情報を得たか以下よりお選び下さい



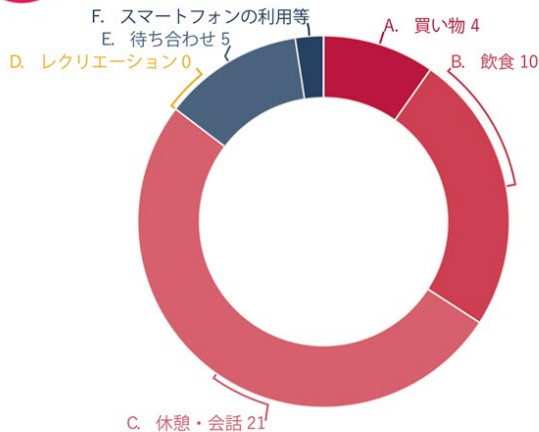
情報源については、UDCMi公式Webサイトとメールニュースが挙げられた。

**Q2** 本日の「美園マチなかロビー」への来訪目的は何ですか？



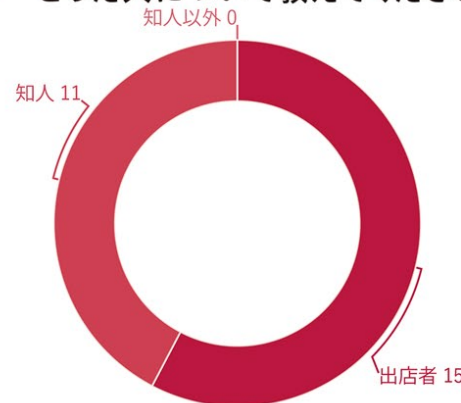
通りすがりで気になった人が22件(56%)と過半数を占め、会場のオープンな雰囲気が効果的だったと言える。

**Q3** 会場内で過ごす際に主に行った活動は何ですか？



買い物(4件)や飲食(10件)などの消費行動が34%を占めたが、休憩や会話(21件)で約半数に上り、居場所としての利用がなされていたことが分かる。

**Q4** 会場内で、会話や挨拶などコミュニケーションをとった人について教えてください。



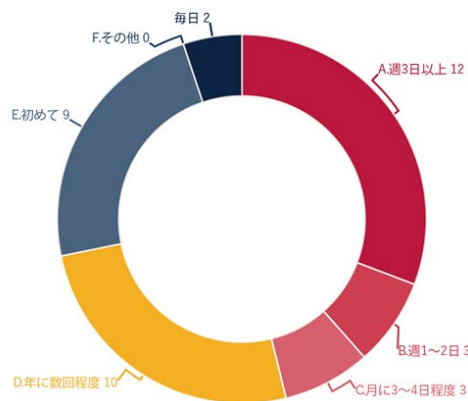
出店者とのコミュニケーションをとった人が71件(74%)と非常に多く、活発な交流が生まれていたことが分かる。





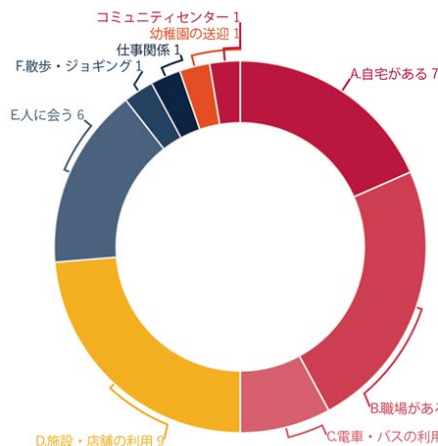
## Q8-1

浦和美園駅東口エリアにはどのくらいの頻度で訪れますか。



日常的に週1日以上エリアを訪れている人(AとBおよび毎日の合計)は、17件(43%)であった。Cと合わせると約半数の人が定期的に訪れていることが分かった。

また、訪れる目的は何ですか？



自宅や職場があるという人が計16件(42%)と半数近くを占めていた。次いで、施設・店舗の利用(9件・24%)、人に会う(6件・16%)が多かった。

Q8-1の「頻度」でA-Dを選択した方に伺います。普段の浦和美園駅東口エリアの印象を教えてください。

商業施設があって利用しやすい  
住んでいる人とサッカーを見に来る人のための場所

さびしい

**静か** 新しい

開放的

きれいな

大きい 広い

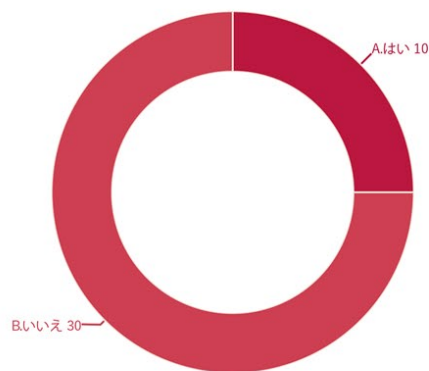
浦和レッズのホーム

若い世代に向けたまちづくり

静か(10件)という意見が最多であった。さびしいという意見も3件あり、飲食や休憩できる機能を期待されていることを鑑みると、やはり日常的に集える場所づくりがニーズとして挙げられそうだ。

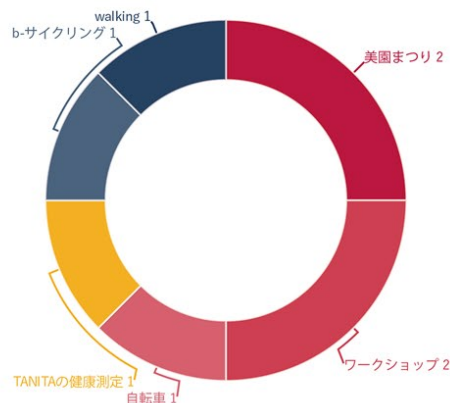
## Q8-2

みその都市デザイン協議会や美園タウンマネジメント協会をご存知ですか？



「はい」と答えた人は20件で、全体の24%であった。

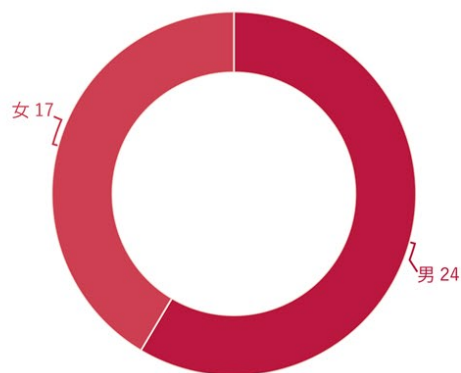
Q8-2で「はい」を選択した方は、ご存知の協議会の取り組み内容を教えてください。



協議会を知っていると答えた人が認識している活動内容として、美園まつり、ワークショップのほか、自転車・サイクリング、ウォーキング、健康測定が挙げられた。

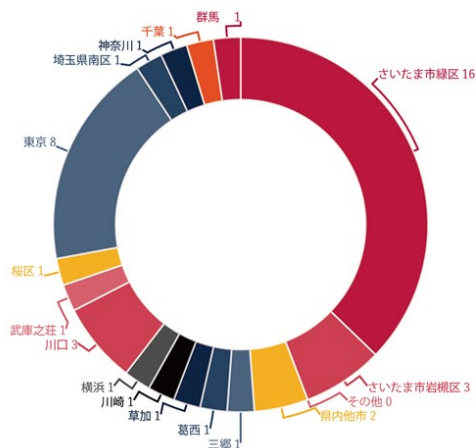


## 性別



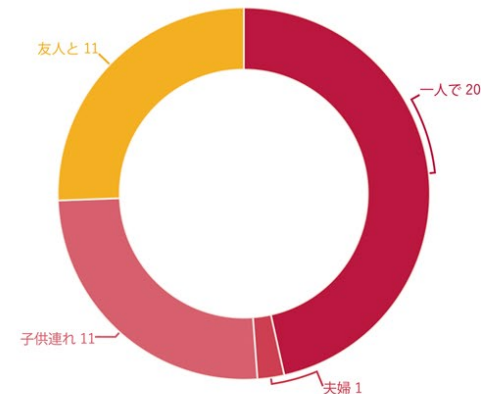
男性が24人(59%)、女性が17人(41%)と男性の方により多く回答していただいた。

## 居住地



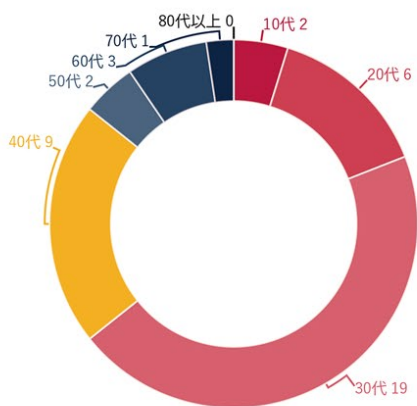
浦和美園駅が位置するさいたま市緑区の居住者が16人(37%)と最も多く、次いで東京から訪れた人が多かった(8人・19%)。

## 同伴者



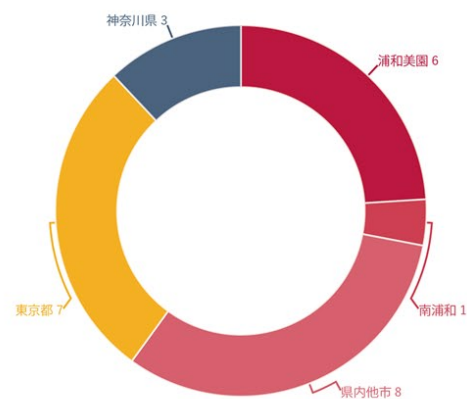
一人で訪れた人が20人(47%)で最も多く、約半数を占めていた。また、子供連れで来た人、友人と来た人がどちらも11人(26%)だった。

## 年代



30代以上の回答数が約8割を占め、20代以下は20%程度にとどまった。特に回答数の多かったのは30代(19人・45%)である。

## お住いの最寄駅



浦和美園駅周辺住民(6人・24%)を筆頭に、埼玉県民が約7割を占めていた。次いで東京都民が7人(28%)、神奈川県民が(12%)であった。

# 04

# Proposal

## / 提言





## 今後の実施に向けた課題と可能性

### ・ 中期間社会実験での戦略的空間利活用へ

- ・ 期間が1週間ほどであったが、日常的な利用や住民・利用者に認知するためには、1ヶ月から数ヶ月の実験をすることが望ましい。継続的、かつ中長期的に実施すると、認知度も高まり、「たまたま」ではなく、利用しようとする人も多い。（池袋駅東口グリーン大通りオープンカフェ社会実験2014では、3週間実施したが、2週目からの利用が多かった）
- ・ また、実施時期は、気温が20度台となる、4-6月、9-10月に実施することが望ましい。合わせて、今回の実施には、風が強く、日陰になる場所であったため、気温以上に寒い環境での実施であった。

### ・ まちとのコラボレーションの推進

- ・ キッチンカーが1店舗であったが、できれば複数店舗立地し、コーヒー等の飲料系と、食事系が立地していると、より滞留行動がおきやすいと考える。
- ・ 今回の利用は、飲食や休憩が多かったが、子どもの遊び場（例えば、大きいジェンガやオセロ）、ライブラリーなどがあると、滞留行動や目的の幅も広がり、滞留時間が長くなると考えられる。
- ・ バス停に近接しているため、バス待ちの利用者が多く、駅前に立地しているため、人目に触れやすく、滞留行動には有利な条件を有している。

### ・ 社会実験のプレイヤー発掘と主体化

- ・ 継続的な実施には、什器の設営・撤去に負担がかかるため、倉庫の設置やキッチンカー等の運営者による設営など、設営・撤去の負担が少なく、日常的に運営可能な仕組みが必要である。

### 空間の質や性質をかえる試み

- ・ 今回の什器は、比較的、モノトーンと木製が多かったが、市民が利用するには、少し色がある方が、目を引き、利用を促しやすい。費用の課題があれば、クラウドファンディングや寄付などで、椅子テーブルに寄付者の名前を入れるなどで工夫することも考えられる。
- ・ 平日の利用が少ないため、ワーカーや子連れお母さんなどの利用を促すプログラムも必要である（子どもの遊び場、ライブラリーなど）